

NO.171 2025/1

kaihou **ISHIKAWA**

# 土地家屋調査士



ごあいさつ

本会だより

部会だより

支部だより

新入会員に聞く

Information



石川県土地家屋調査士会



# 土地家屋調査士倫理綱領

## 1. 使 命

不動産に係る権利の明確化と期し、  
国民の信頼に応える。

## 2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で  
誠実に業務を行う。

## 3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。



## ご報告

長らく発行してまいりました本会報ですが、財政状況や近年の環境等への配慮から、今号を持って、紙媒体での発行を取りやめることと致しました。会員の皆様には、今まで多くの取材や記事のご協力を頂き、感謝しております。来年度からは、皆様への情報発信がより良くなるように、新しい発行形式を模索し、作り上げていきたいと考えております。

今回の表紙写真は、最終号ということもあり、昭和58年に建築された本会会館にいたしました。次号からも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。



# 目次

---

新年のごあいさつ..... 1

石川県土地家屋調査士会 会長 有川 宗樹

新年のごあいさつ..... 2

金沢地方法務局 局長 石田 正信

新年のごあいさつ..... 3

日本土地家屋調査士会連合会 常任理事 石野 芳治

新年のごあいさつ..... 4

石川県土地家屋調査士政治連盟 会長 丸田三智雄

新年のごあいさつ..... 5

石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 理事長 武部 恭典

---

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨による 会員の被災状況	6
---------------------------------	---

#### 本会だより

令和6年度 定時総会開催	6
令和6年度 中部ブロック協議会 定時総会	7
神奈川会横浜南支部来県	7
金沢大学寄附講座	8
ツーデーウォークに参加して	8
各部活動報告	9

#### 支部だより

金沢支部	11
小松支部	11
七尾支部	12

新入会員に聞く（7つの質問）	13
----------------	----

クロスワードパズル	14
-----------	----

information・事務局	15
-----------------	----



## 新年のごあいさつ

石川県土地家屋調査士会

会長 有川 宗樹

石川県土地家屋調査士会会員の皆様および関係者各位に、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様が無事に新年を迎えられたことを願っています。

昨年は能登半島地震と奥能登豪雨により能登地方を中心に甚大な被害が及びました。今なお厳しい環境に置かれている皆様に、心からお見舞い申し上げます。

この災害に対し県内の会員ならびに全国のブロック協議会、単体会や支部会、会員個人から託された義援金は、配分委員会を通じて被災された会員にお渡ししたことをご報告するとともに、ご支援いただいた皆様に改めて深く感謝申し上げます。

被災地では復興に向けて、会員の皆様が土地家屋調査士業務を通じて貢献されていること、また金沢地方法務局の職権滅失調査業務において公益社団法人石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の皆様が協力されておられることを心強く感じています。

昨年はコロナ禍以降の人の動きが以前にも増して活発になってきたように感じました。日米の首脳も変わったことで、今年から大きな変化があるものと思われれます。その変化の中で能登地方の復興がますます加速することを大いに期待し、土地家屋調査士がこれに貢献できるよう積極的に取り組んで参りたいと考えています。

また所有者不明土地の解消に向けた民事基本法制の見直しにより、土地家屋調査士の活躍の場も広がりつつあると感じています。今後は相続土地国庫帰属制度や、所有者不明土地管理人への参画などが期待されており、我々はより一層研鑽に励むことが求められます。昨年は相続登記の義務化が各方面で話題になりましたが、これを機に表題登記が義務であることも国民に伝えていかねばならないと感じています。

これからも土地家屋調査士を取り巻く環境が変化し続ける中、会員の皆様には土地家屋調査士として不動産の権利の明確化に寄与し、国民生活の安定と向上に貢献していただけるよう、当会は対応して参ります。

当会もまた変化の流れに置かれています。それは会員の急激な減少によるものです。全国的にも土地家屋調査士人口が減少しており、平成14年度をピークに令和5年ではその84%になっています。新たな登録者数も減少傾向ですが、即効性のある対策は難しいのが実情です。

そのような状況において、昨年より金沢大学で石川県司法書士会と協力し学生に寄附講座を開設できたことは、未来に繋がる明るいニュースでした。

これからも当会が安定して会務運営できるように、昨年より組織改革や事業規模の見直しを検討し、実施できることから始めています。引き続き会員の皆様からのご意見を賜りながら改革を進めますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

本年も土地家屋調査士制度の発展と各種施策の円滑な実施のため、役員一同力を合わせて取り組んで参ります。

最後になりましたが、会員の皆様、そして関係者各位のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



## 新年のごあいさつ

金沢地方法務局

局長 石田 正信

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は1月1日に発生した令和6年能登半島地震により多くの建物が損壊した上、火災や津波の被害も重なり能登半島など広範な地域に甚大な被害が生じ、9月には能登半島で豪雨による災害も発生しました。

金沢地方法務局としても、倒壊建物の公費解体・撤去の加速化のための職権滅失登記を輪島市の朝市地区などにおいて実施するなど、名古屋法務局管区内各局の協力を得ながら復旧・復興に向けて取り組んでいるところです。

また、石川県土地家屋調査士会会員の皆様には、登記所備付地図作成作業を始め法務行政に対する深い御理解と表示登記制度の充実・発展のための御協力に加え、復旧・復興に関しても御支援をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年6月10日、所有者不明土地等対策推進のための関係閣僚会議において、「所有者不明土地等対策の推進に関する基本方針」が改定され、同対策を推進することが、引き続き明記されました。この「基本方針」には、令和5年4月に施行された相続土地国庫帰属制度、昨年4月から施行された相続登記申請義務化を始めとする不動産登記情報を最新化させる新制度への対応のほか、長期相続登記等未了土地や表題部所有者不明土地の解消作業の推進などによる相続登記の促進などが掲げられていることに加え、土地に関する重要な情報基盤である登記所備付地図の整備についても、現行整備計画を着実に実施しつつ、次期整備計画に向けてニーズを踏まえた重点化・効率化を進めることなどが掲げられています。

法務局としては、所有者不明土地問題への対応が政府の最重要課題の一つであることを受け止めて、これまで実施している各種施策を引き続き着実に実施するとともに、新たに始まった施策にもしっかりと対応していく必要があります。これらの施策を円滑に実施し、所有者不明土地を解消していくためには、「不動産の表示に関する登記及び土地の筆界に関する業務の専門家」としての土地家屋調査士の皆様に、その専門的知見と豊富な経験を発揮して御協力いただくことが何より重要と考えておりますので、本年も特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、表示登記制度の充実・強化、各種施策の適正円滑な実施のため、私ども法務局職員も一層努力していく所存ですので、今後とも、御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、石川県土地家屋調査士会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





## 新年のごあいさつ

日本土地家屋調査士会連合会

常任理事 石野 芳治

新年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年の元日に発生した令和6年能登半島地震により、我々石川県民は経験したことのない揺れによりこの世のものとは思えないような惨状を目の当たりにし、何度も夢ではないのかと思いながら、少しずつ現実であることを認識しはじめた年初よりようやく1年経過しました。ようやくと言いつつも、あっという間に1年が過ぎたように思えます。

1年たった今でもいまだに避難されている方々や、1月1日16時の発災直後の状態で取り残されている倒壊家屋を目の当たりにすると、本当に1年経過したのか、という感覚も持ってしまいます。

ニュース等では「進まない復興」という言い方もされますが、一方で現地に向かうと日々改善される道路事情、少しずつ更地が増えてきている状況を見ていると公費解体が進んでいる状況も感じ取れます。他の方から見れば、まだまだ進みは遅いと感じるのかもしれませんが、しっかりと着実に復興に向けて進んでいることに間違いありません。

いつまでも悲観的にいるわけにはいけません。我々は前を向き、自分のできる事を一つ一つしっかりと進めていくのみです。我々のできる事の一つとして現在能登地区において能登地震における倒壊家屋滅失調査業務が実施されております。これは公費解体を促進する目的のために行われておりますが、このような業務は震災復興支援の中でも我々の担当ともいえる範囲での業務の一つであります。

今こそ、これまで培ってきた知識・経験を能登に、石川に対して役立てる時です。倒壊家屋の調査、地震による移動した土地の境界に関する問題の解決これらはすべて能登の復興に必要不可欠であり、復興の基礎と言っても過言ではありません。

我々は土地・建物の専門家として75年存在し続けてきました。これまでも平時においては通常業務を通じて、国民生活の発展に寄与してまいりました。改めて申し上げることもないかもしれませんが、我々土地家屋調査士は土地の境界の専門家として最前線に存在しております。このような問題に対して我々が対応しないでいったい誰が解決するのでしょうか？我々がこの問題から目を背けることは能登の復興から逃げる事であり、専門家であることを放棄することにもなります。

日本土地家屋調査士会連合会では石川会を全力でバックアップいたします。全国の仲間も皆さんを応援しています。決して石川会だけに任せきりにすることは致しません。能登の復興を、この国の発展を目指し、ともに進んでいきたいと考えております。

今年は復興元年、という言葉も聞きます。今年一年が皆様にとって今後の発展の礎となる一年になることを願い、年初のあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。





## 新年のごあいさつ

石川県土地家屋調査士政治連盟  
会長 丸田 三智雄

令和7年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

去年は、元旦の能登半島地震に始まり、9月には地震で甚大な被害を受けた能登半島を今度は記録的大雨が襲いました。24時間雨量が400ミリ超という観測史上最大の大雨によって、復旧の遅れが指摘されていた地域での被害が拡大。20を超える河川が氾濫し、仮設住宅の浸水、さらに各地で土砂崩れが起き、孤立した集落は、一時、100か所以上にのぼり、命と暮らしが再び脅かされる事態になりました。亡くなられた方々には衷心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々、また被災された会員の方々にお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

石川県土地家屋調査士政治連盟としては、地元国会議員の方々に能登の早期復旧・復興のお願い、土地家屋調査士の活用していただけるよう働きかけ、相談会の開催等々お願いをしている所です。

また、政党に対しては「団体要望懇談会」においても下記の事項を要望しています。

1. 令和6年能登半島地震建物表題登記関係の補助について
2. 「狭あい道路対策に関するガイドライン」に基づく狭あい道路の早期解消について

《石川県及び市町村への要望事項》

- ①官民境界確認業務の補助について
- ②固定資産評価情報の開示について

《土地家屋調査士制度への要望事項》

- ①土地家屋調査士業務に関する業務報酬基準について
- ②登記所備付地図（不動産登記法第14条第1項）作成作業の促進について
- ③表題部所有者不明土地の解消に向けた施策の促進について
- ④表示に関する登記の手続における固定資産課税台帳に記録されている所有者等の情報の利用について
- ⑤公共嘱託登記土地家屋調査士協会が「筆界を明らかにする業務」を行うこと及び「筆界特定手続の代理」をすることを可能とする方策について

社会に必要なことを立法に働きかけていくことこそが、土地家屋調査士政治連盟の役割だと考えます。

これからは、石川県土地家屋調査士政治連盟も、地方議員の方々に勉強会等を開催し、狭あい道路境界問題・所有者不明土地問題・空き家問題など直接対話することで、地方議員の方々には、より一層理解を深めてもらい、今回の震災に際しては、土地家屋調査士の有用性・役割を理解して活用していただくこと、そこに石川県土地家屋調査士政治連盟の役割があります。

土地家屋調査士政治連盟は、個人の思想信条や政治理念を問うて成り立つ団体ではありません。あくまで土地家屋調査士制度の充実発展を期するために同一の行動を盟（ちか）い合う共同体なのです。一人一人が参加することこそ、政治を動かす源であることをご理解いただき、一層のご協力をお願いいたします。



## 新年のごあいさつ

公益社団法人  
石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会  
理事長 武部 恭典

新年あけましておめでとうございます。旧年中は石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の運営に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年元日の能登半島を襲った巨大地震。正月の暖かな空気が一変しました。今年で1年を迎えましたが、復旧は遅々として進まない現状であります。

住民の中には9月の豪雨で二重に被災した人もいて、避難所生活など急激な環境の変化で亡くなった「災害関連死」も後を絶たない状況です。

震災と豪雨により、石川県の自治体で管理する道路や港湾など、公共土木施設の被害額は、今年13日の時点で1兆円を上回りました。国や県は年明け以降、インフラ施設の復旧を本格化させたい考えとのこと。今後は雪による2次被害も懸念されています。

災害の国、日本。能登の復旧、復興の道は、誰にとっても明日の我が身と考えれば、自分ごととしてこれからも皆が注視していくべきだと思いました。

さて、今年の干支は「乙巳（きのと・み）」です。「乙」は困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。

本年の干支にあやかって、しなやかに、したたかに、土地家屋調査士もわが協会も老いることなく、不老長寿の道を歩んでいけることを願ってやみません。

結びに、本年が皆さんとご家族にとり、より佳き年となりますことを祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨による会員の被災状況

被災会員数（罹災証明書等の提出がある）

輪島支部 12名  
七尾支部 11名 1法人  
金沢支部 5名

被災建築物数（罹災証明書等の提出がある）

	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	合計
事務所	2	0	2	1	1	10	16
事務所兼自宅	2	0	0	0	2	7	11
自宅	2	1	3	1	4	5	16
合計	6	1	5	2	7	22	43

### 石川県土地家屋調査士会義援金

全国の調査士会、支部、調査士会員ほか多数の団体個人より義援金をお預かりしました。  
義援金24,495,187円（令和7年1月現在）は被災した会員に配分させていただきます。

## 本会だより

令和6年度

### 第68回 定時総会

令和6年度定時総会が、令和6年5月24日（金）にホテル金沢にて開催されました。有川会長の挨拶から始まり、新入会員の紹介の後、議長に北村興治会員、副議長に内潟幸宏会員が選出され、議事が進行しました。

各部からの報告後、第1号議案から第5号議案までが承認され、滞りなく議事が終了し閉会となりました。

その後、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、式典が盛大に執り行われました。表彰を受けられた皆様、誠にありがとうございました。





## 本会だより

令和6年度

### 中部ブロック協議会 定時総会

令和6年7月5日（金）、中部ブロック協議会定時総会が富山市の「オクスカナルパークホテル富山」にて開催されました。当番会会長の挨拶に始まり、活動報告、審議事項の承認と無事に総会は行われました。続いての式典では、名古屋法務局長表彰があり、当会より薬種正明会員、南知伸会員が表彰を受けられました。誠にありがとうございました。

翌日は各部に分かれての分科会が行われ、各部とも活発な議論がかわされました。出席した理事一同、有意義な情報、意見を精査し、今後の会務運営に生かしていきたいと思っております。



## 神奈川県土地家屋調査士会横浜南支部表敬訪問

令和6年10月23日、神奈川県土地家屋調査士会横浜南支部の方々の表敬訪問を受けました。細川英史横浜南支部長はじめ7名の皆様をお迎えし、公嘱協会2階会議室にて懇談しました。当会有川会長が能登半島地震の発災から現状までの説明を行い、その後震災対応についての意見交換の場を持ちました。また、細川支部長より横浜南支部皆様のお志として被災会員への義援金を拝領しました。横浜南支部の皆様、誠にありがとうございました。







## 本会だより

# 金沢大学不動産登記法寄附講座開講について

部会だよりでも少し触れましたが、昨年12月10日（火）より金沢大学において「不動産登記法寄附講座」を司法書士会との共催で開講しております。

17日（火）に角田会員が「土地に関する登記1」、24日（火）に木内会員が「土地に関する登記2」、1月7日（火）に大星雅司会員が「建物に関する登記」を講義いたします。

平成29年より愛知県の名城大学で毎年2回の授業を担当し、“いずれは県内の学校”でとの思いで講師予定者を派遣してきました。今回、県内学校での開催が叶い、嬉しい思いとともに、身が引き締まる思いも致します。

講義最終日の2月4日（火）には、有川会長、角田会員の出席の下、司法書士会と職業紹介セミナーを開催する予定です。

これからも、寄附講座は広報事業の柱として行っていきたく思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## ツデーウォークに参加して

広報部

部長 沖田 洋昌

令和6年6月2日（日）に金沢百万石ツデーウォークが開催されました。

本会も後援しているイベントのため、丸田顧問、清水会員夫妻、齊藤副会長と私で参加してきました。

今年は「まいどさんコース5kmの部」という観光ボランティアガイドさんが説明してくれるコースにしました。日頃何気なく目にしている場所、普通に通っている道や水路などがガイドさんを通して歴史を知るだけで全く違う景色に見えてきます。まさに道路や水路が昔語りをするようで、ああこれがブラタモリを実体験するということだなあと感じました。我々土地家屋調査士はそれぞれ日頃の業務において、土地の歴史を追いかけているようなものです。ふとした土地の歴史や出来事を知るだけで、少し業務の助けになることもあるかもしれません。などと思いにつける有意義な一日でした。来年はぜひ大勢の会員に参加して頂きたいと思います。





## 部会だより

# 各部活動報告

令和6年

5 / 2	第1回総務部会	開催	
5 / 20	第2回総務部会	開催	
6 / 14	第3回総務部会	開催	
6 / 14	第1回次世代事務局検討会	開催	
7 / 5	中部ブロック協議会定時総会	(富山)	
7 / 6	"	分科会	( " )
8 / 27	第1回総務・財務合同部会	開催	
9 / 9	第2回総務・財務合同部会	開催	
11 / 10	中部ブロック協議会担当者会議	(三重)	
11 / 21	第3回総務・財務合同部会	開催	
12 / 19	第4回総務・財務合同部会	開催	

## 《総務部》

部長  
川端 幸司



・昨年12月2日より新事務局員として本多幸子さんが出勤されております。  
皆様宜しくお願い致します。

非調査士調査	
11 / 6	輪島支部
11 / 6	小松支部
11 / 13	七尾支部
11 / 25	金沢支部

令和6年

7 / 5	中部ブロック協議会定時総会	(富山)
7 / 6	"	分科会 ( " )
8 / 27	第1回総務・財務合同部会	開催
9 / 9	第2回総務・財務合同部会	開催
10 / 15	中間会計監査	
11 / 10	中部ブロック協議会担当者会議	(三重)
11 / 21	第3回総務・財務合同部会	開催
12 / 19	第4回総務・財務合同部会	開催

## 《財務部》

部長  
上山 優



- 令和6年1月に発生した能登半島地震において、被災された会員の方々には、慶弔規定に基づくお見舞金を迅速に交付させて頂きました。また、これとは別に全国各地から寄せられた義援金についても、災害対策本部・義援金配分委員会の決定に基づき、被災された方々への交付を進めております。
- 昨年度に制定したばかりの財政調整基金積立取扱細則ですが、能登地半島震の影響と思われる会員数の急激な減少がみられたため、早速今年度中の基金の利用に関し現在検討を進めております。
- 上記2.に伴う収入の減少に対し、今年度より調査士会のカレンダーを廃止するとともに、グリーン会への助成金額の減額を実施しました。また、さらなる経費削減策として、今年度は各種会議におけるペーパーレス化、WEB会議による交通費の削減等の試験的な運用を行って参りました。実質的に目に見える形で会費の削減が実現されたため、来年度の本格的な運用に向けて、検討を進めております。

業務研修会を昨年3月に企画していましたが、令和6年能登半島地震の影響を考慮し業務研修会開催を断念いたしました。今年度は業務部での企画活動は活発に出来ませんでした。2月22日に研修部、社会事業部、業務部合同で地震関連の研修会を開催いたします。

本会資料室について、令和5年10月からスタートして1年間の閲覧状況は、金沢・小松の資料を合わせ123件でした。今後も法務局からの資料収集を継続的におこない会員の皆様に無料で提供していく方向です。

また、登記処理が円滑・迅速に行われるよう法務局との打ち合わせを行ってまいりますので、会員の皆様より業務に関する相談等がございましたら「業務に関する相談等報告書」を活用しご意見をお寄せください。

## 《業務部》

部長  
柿島 真明





研修部では、以下の活動を行いました。

- 令和6年9月4日 測量実務研修会（中級：基準点測量）  
講師：藤島信一郎会員
- 令和6年9月4日、20日、21日 石川会新人研修  
講師：役員・研修部他
- 令和6年10月23日 年次研修（連合会指定内容で開催）
- 令和6年11月15日 不動産登記法改正の要点と実務への影響についての解説  
講師：弁護士 荒井達也先生
- 令和6年11月22日 土地家屋調査士倫理、取得時効と境界紛争  
講師：弁護士 相場中行先生
- 令和6年2月22日（予定） 2016熊本地震後の土地家屋調査士業務  
講師：熊本会
- 業務に関する研修会（石川の地籍について）  
講師：宮崎健会員

## 《研修部》



部長  
藤島 信一郎

上記の中で、新人研修について少し詳しく報告いたします。3日間で行うようになってから3年になります。研修のメインとなる内容は、研修部が依頼者となって『受講者に調査士会館の土地の分筆登記を依頼する』というものです。受講生は、見積書の作成から依頼者との分筆線の打合せ・現地の測量・模擬立会・分筆登記の申請（地積測量図・調査報告書の作成）までを一通り行います。受講生への負担は大きいですが、仲間と協力しながら時には先輩調査士からアドバイスをもらい課題を進めて行く姿を見てみると、初々しさを感じつつも何とか課題をクリアしようとする様子がとても心強く感じられます。受講生への評判も良いことから、引き続きこの内容で続けていきたいと考えています。

継続事業となっている「七尾ポイントゼロ」事業ですが、ついにデザインが決まり、設置予定の物も完成しました。今後、七尾市と設置時期について協議する予定です。

今年度は司法書士会との共催により、金沢大学で「不動産登記法寄附講座」の開催が決まりました。全8回（1回は司法書士会と合同）のうち3回を調査士会が担当することになり、すでに昨年12月より授業が始まっております。角田会員、木内会員、大星雅司会員がそれぞれ担当講師となっております。近年、土地家屋調査士を目指す人が減少傾向にあるなか、学生の心に響く授業が行われ、少しでもこの業界に関わる人が増えれば良いと考えております。

3月には、中部ブロック協議会と東京法経学院との共催による受験生、開業志望者向けの「調査士ガイダンス」を開催する予定です。

財政状況等の影響もあり、広報活動も全開でというわけには参りませんが、地道に事業を行っていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 《広報部》



部長  
沖田 洋昌

社会事業部では、昨年度設置した地震境界対策委員会で令和6年能登半島地震による境界相談に対応しております。

また、石川県・石川県士業団体協議会が被災地で開催している合同無料相談会に相談員を派遣しています。この相談会では境界問題に限らず、地震に関する幅広い内容に対応しています。相談員の皆様にはご協力感謝申し上げます。

本会による無料相談も、すでに昨年度の相談件数を超えております。この相談会は地震に関わらず対応しております。

中部ブロック協議会関連事業では、名城大学寄附講座に人材育成を目的として講師のほか講師候補2名が参加しました。

今後も事業を推進してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 《社会事業部》



部長  
中 康光

支部だより



支部長  
森下 康平

金 沢 支 部



金沢支部では、昨年と同様に恒例でありました夏のビアパーティーを7月26日に開催いたしました。家族や補助者を合わせて43名の参加と、久しぶりの支部の懇親会で支部会員の懇親を深めることができました。室外でのビアパーティーではなく涼しいところでの開催を検討してほしい要望が多いので、令和7年度は室内での開催にしたいと考えております。

令和7年度はビアパーティー等の支部の懇親を深められる事業を企画したいと考えておりますので、奮って参加していただきますようお願いいたします。



支部長  
山崎 豊

小 松 支 部



小松支部では、これまで毎年、会員やご家族、補助者の皆さまと一緒に楽しめるレクリエーションを恒例行事としてきました。しかし、コロナ禍の影響により長らく実施を見送っていましたが、このたび5年ぶりに9月27日に、「ラーゴ・ビアンコ 木場潟西園地」にて「サマー・ナイト・ディナー」を開催することができました。

当日は、会員14名、補助者14名、そしてご家族9名にご参加いただきました。イベント中にはビンゴ大会も行われ、小さなお子さまから中学生まで楽しめる内容で、大いに盛り上がりました。参加者全員が和やかな時間を共有できたことは、日々の業務にも良い影響をもたらすと改めて感じました。



これからもこのような機会を大切に、引き続き楽しい交流の場を設けていきたいと思っております。



支部だより

## 七尾支部



支部長  
木内 良純

令和6年は元日から能登半島地震が起こり壮絶なスタートとなりました。七尾の会員も多くの方が被災し、七尾市は全域水道が止まり最長3カ月も止まる地区も。街は悲惨でしたが、会員及び家族の方が無事であったのがせめてもの救いでありました。また、全国から多くの温かい支援や義援金を賜りましたことも感謝申し上げます。

今年度は七尾の和倉温泉も営業不可だったこともあり、総会は書面決議にて執り行いました。怒涛の一年を過ごしていた中、11月に「和倉温泉のと楽」が完全ではなかったですが営業再開されたので、会員の労をねぎらうべく12月13日に支部忘年会を開催しました。有川会長に臨席を賜り、久しぶりに楽しい宴会を開催することができたことをうれしく思う次第です。

復旧、復興はまだまだ目途がつかず、来年も被災地の支部として災害関連業務が続く厳しい一年になると思います。引き続き本会の温かいバックアップをお願い申し上げます。



忘年会



ライカジオシステム様の展示会も開催



# 新入会員に聞く

## \*\*\* 7つの質問 \*\*\*

- ①なぜ土地家屋調査士になろうと思いましたか？
- ②前職は何ですか？
- ③自分はどのような性格だと思いますか？
- ④趣味はなんですか？休日はどのように過ごしますか？
- ⑤あなたの健康法は何ですか？
- ⑥土地家屋調査士として今後の抱負をお願いします。
- ⑦調査士会への要望をお書き下さい。



金沢支部 簾 真左弘

- ①AIと相性がいいかもしれないと思った事と独立可能であることなどに魅力を感じたからです。
- ②補助者です。その前は全くの異業種です。
- ③凝り性であり、飽き性でもあります。
- ④最近ジャンルを問わず本を読むようにしています。
- ⑤適度な外業と睡眠です。
- ⑥法令を遵守し、依頼者に寄り添える実務家でありたいと思います。
- ⑦いつもありがとうございます。特にありません。



金沢支部 中西 健一

- ①約20年前に父親からの相続があり、その時土地の境界で揉めたことがきっかけで資格を取得し、いずれは調査士になろうと考えておりましたが、この度様々なタイミングが重なり開業を決意しました。
- ②会社員
- ③快活明朗
- ④マラソン、DIY、サイクリング、銭湯
- ⑤ランニング、銭湯
- ⑥土地の境界問題がきっかけで調査士と出会いましたので、とくに土地の境界について探求し経験を積みながら、地域への社会貢献と調査士会の発展に寄与できればと考えております。
- ⑦調査士のみなさんは温かい方ばかりですので、今後もより多くの方々と交流を深められる会があると嬉しく思います。



正解者の中から  
抽選で10名の方に、  
景品をプレゼント!

# 調査士にしか解けない?

## クロスワードパズル2025

に応募しよう!

### 応募方法と応募の際の注意点

- クロスワードは2重の文字を並べ替えて、出てくる言葉を解いてください。
- 下記の項目を記載し、メール、FAX、葉書にて、2月末日までに事務局まで応募してください。

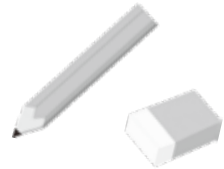
#### 1.氏名または事務所名 2.クロスワードパズルの解答

- クイズの正解は応募受付締め切り後、ホームページに掲載します。(3月頃)
- 抽選の結果は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- 景品の内容と当選者の数については、応募者数の関係でそれぞれ変更する場合があります。

たくさんのご応募お待ちしております!

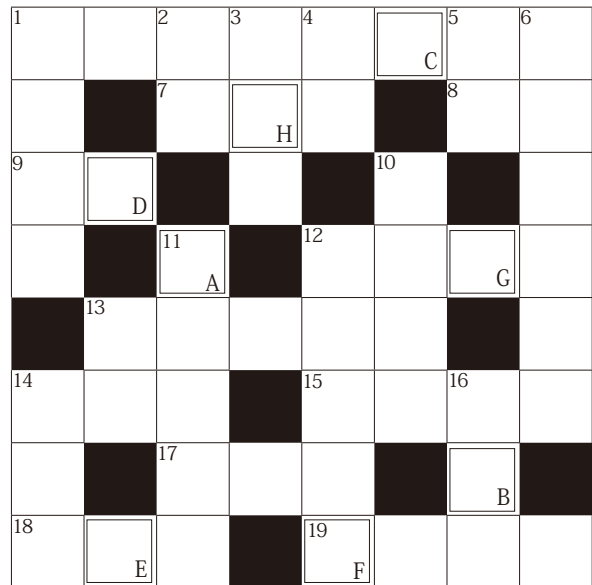
### 問題

クロスワードパズルを解いたら二重マスに注目、  
アルファベット順に並べてできる言葉は何でしょう?



- 16 立春・雨水啓蟄… 二十四〇〇〇
- 14 太平洋の島国
- 13 級の上のランク
- 12 夢のコレ建てたら表題登記ですね
- 11 準則に出ている「館」が付く建物
- 10 電車やバスで支払う
- 6 マンション専有部分は内法で
- 5 古い中国の言い方
- 4 80のこと
- 3 角度や傾き ○〇〇補正
- 2 地下 ○〇フロント
- 1 国立や国定の敷地全てがこの地目なのではない

#### ▼タテのカギ



#### 答え

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---



#### ▶ヨコのカギ

- 1 占用や工事を始める際に行政に出すのは何届?
- 7 我々が利用している空中写真は元データから、  
○〇〇補正がされている
- 8 内側、中央
- 9 元素だと硫黄、横にすると相似記号
- 12 草や伝染病がはびこりひろがる

- 13 金銭ではない道路買収時の解決法
- 14 新年に皇居に行って祝賀の意を表すること
- 15 運転免許証には表記が無くなっている
- 17 屋根の種類の一つ ○〇〇鉄板ぶき
- 18 鉄+?=トタン
- 19 公図で隣地に地番が入っていない

問題作成 大星 雅司

Information・事務局

登録（入会）

氏名 簾 真左弘（みすまさひろ）  
 登録番号 第695号  
 事務所 〒920-0348  
 金沢市松村五丁目2番地 桑沢ビル103号  
 (事) TEL 076-267-1563  
 (事) FAX 076-267-1565  
 登録年月日 令和6年5月1日

氏名 中西 健一（なかにしけんいち）  
 登録番号 第696号  
 事務所 〒920-0801  
 金沢市神谷内町ニ124番地1  
 (事) TEL 076-251-5503  
 (事) FAX 076-251-5503  
 登録年月日 令和6年7月1日

登録事項変更

氏名 石黒 英二  
 登録番号 第656号  
 事務所 〒921-8065  
 金沢市上荒屋五丁目441番地  
 (事) TEL 076-227-8747  
 (事) FAX 076-227-8749  
 変更年月日 令和6年4月1日

氏名 池辺 奏  
 登録番号 第621号  
 事務所 〒920-0024  
 金沢市西念4丁目3番13号  
 (事) TEL 076-263-3457  
 (事) FAX 076-263-3458  
 変更年月日 令和6年10月5日

氏名 高木 慎太郎  
 登録番号 第691号  
 事務所 〒929-0327  
 河北郡津幡町庄〜41番地8  
 (事) TEL 076-288-3585  
 (事) FAX 076-203-6167  
 変更年月日 令和6年8月21日

氏名 八田 祥宏  
 登録番号 第683号  
 事務所 〒929-1126  
 かほく市内日角〜69番地5  
 (事) TEL 076-213-6806  
 (事) FAX 076-213-6807  
 変更年月日 令和6年11月1日

氏名 前田 佳子  
 登録番号 第681号  
 事務所 〒923-0964  
 小松市今江町六丁目310番地1  
 (事) TEL 0761-22-6180  
 (事) FAX 0761-22-5622  
 変更年月日 令和6年8月27日





## 登録抹消 (退会)

氏名 荒木 秀雄  
登録番号 第 443号  
退会年月日 令和6年4月13日

氏名 田村 優  
登録番号 第 407号  
退会年月日 令和6年6月20日

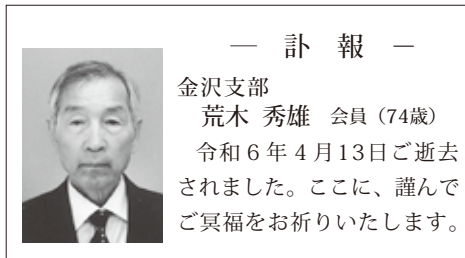
氏名 大岡 不似夫  
登録番号 第 479号  
退会年月日 令和6年4月18日

氏名 浅井 宏一郎  
登録番号 第 497号  
退会年月日 令和6年8月30日

氏名 奥村 文男  
登録番号 第 686号  
退会年月日 令和6年4月24日

氏名 中本 満  
登録番号 第 684号  
退会年月日 令和6年12月10日

氏名 端谷 晋  
登録番号 第 256号  
退会年月日 令和6年5月31日



## 図書蔵書一覧表

	図 書 名	著 者・発 行
610	研究所 紀要 第2号 (令和4年度・令和5年度)	愛知県土地家屋調査士会
611	令和6年能登震災の税務と支援措置 ー法人編ー	財経詳報社
612	令和6年能登震災の税務と支援措置 ー個人編ー	財経詳報社
613	土地家屋調査士白書2024	発行所：日本加除出版(株) 編 者：日本土地家屋調査士会連合会

**新事務局職員入社！**

萩原昭子さんが本年秋退職されることに伴い、後任として昨年12月より、『本多幸子さん』が採用されました。現在鋭意引継ぎ中です。

本多さんより「仕事に慣れるまで時間がかかりそうですが、温かく見守っていただけると幸いです。よろしくお祈りいたします！」とのコメントをいただきました。会員の皆様、今後ともよろしくお祈り申し上げます。

【特別価格・送料当社負担でお求めいただけます！】

国土調査 わかる！シリーズ 第2弾  
待望の地籍調査作業規程準則の実務解説！



# わかる！地籍調査

## Q&Aによる準則・運用基準の実務解説

司法書士 山中正登・測量士 佐藤修 著

2024年11月刊 A5判 556頁 定価7,480円(本体6,800円) → 特価6,730円(税込)

- A工程（計画）からH工程（図簿作成）まで185の設問により詳細に解説
- 裁判例・先例を随所に掲げ、170以上の説明図を添えてわかりやすく解説
- 現地調査・図面等調査の通知例ほか無反応所有者の判断フロー・書留通知文例も収録
- 地上法ほかリモートセンシング手法による筆界案作成例も紹介
- 検査成績表や認証請求書類の作成例・留意事項も収録  
など事例を用いた実務解説

令和6年  
改正準則・運用基準  
に対応！

### 設問例

#### 第2章（A工程：計画・事務手続）

Q：全体計画の作成において管轄登記所や公物管理者との事前協議及び19条5項指定対象事業者との調整が必要です。まず、法務局との事前協議や依頼について教えてください。

#### 第6章（E工程：一筆地調査）

Q：現地復元性を有する地積測量図がありません。筆界案の作成方法について教えてください。

#### 第8章（FⅡ-1工程：一筆地調査）

Q：ネットワーク型RTK法について教えてください。

#### 第11章（H工程：図簿作成）

Q：認証請求書類を作成する際の留意事項について教えてください。

立法趣旨・背景事情、法案審議、改正経緯及びその主な内容を一つずつ丁寧に解説した唯一の書



# わかる！国土調査法

## 逐条解説と実務Q&A

山中正登 著

2023年11月刊 A5判 420頁 定価5,280円(本体4,800円) → 特価4,750円(税込)

わかる  
シリーズ  
第1弾！

特別価格・送料当社負担 書籍注文書  ご注文締切 2025年2月28日(金) 必着

お届け 確認後、4～5営業日で、郵送または宅配にて出荷します(国内限り)。  
※在庫が無い場合は、少々お時間を頂きます。

ご注文	<b>FAX.03-3953-2061</b>	太枠内を記入し、当社に送信ください。	お支払	商品に同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料は当社負担)。	
書名	特価(税込)	部数	書名	特価(税込)	部数
わかる！地籍調査	40944 地調査 6,730円	部	わかる！国土調査法	40966 国逐 4,750円	部

右記コードまたはURLからでも  
特別価格・送料当社負担にてご注文いただけます！  
<https://forms.gle/aQ1MqrBv35HZFMKh9>



販促コード：205170

フリガナ	ご注文日	年	月	日
お名前	TEL			
ご住所 〒	FAX			
	通信欄			

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、お支払いの確認などの連絡および当社からの各種ご案内(刊行物のDM、アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。

初學者向け 通信教育

午後の部試験攻略のための

改正法に  
完全対応!!

特典!

本試験会場に持ち込める  
必携の記述式用器具付き!

- 縮尺定規「すいすい君 すらすらちゃん」
- 全円分度器

土地家屋調査士 MP4映像  
ダウンロードタイプ

# 新 最短合格講座

ホームページで  
サンプル映像  
配信中!



**内堀クラス**

レクチャー

**内堀 博夫**  
本学院専任講師

**山井クラス**

レクチャー

**山井 由典**  
本学院専任講師

注目! 東京法経学院は  
ココがちがう!  
**8つのポイント**

**1 合格実績が違う!**  
他を圧倒した合格者を輩出  
しています!

令和5年度土地家屋調査士試験  
東京法経学院合格輩出実績  
**合格者428名中323名輩出**  
**合格占有率 75.5%**

※ 詳しくは HP にてご確認ください。

**2 講師陣が違う!**  
講師陣の層の厚さが半端ない!

真の講義力は、受講生の反応をリアルタイムで確認しながら進める対面授業（イン・パーソナル・クラス）によって身に付くものと考えておりますが、担当の各専任講師は対面授業時間が1万時間を超えております。本講座では、その対面授業で培った能力を十分に発揮していますので、安心して受講していただくことができます。近年合格した方を教壇に上げることができません。

試験を知り尽くした講師陣が総力で、教材制作や答案講座等の問題作成にあたっています。試験傾向を徹底的に分析し、どのレベル、どの角度からの問題にも対応できる良質の問題作成に取り組んでいます。

**3 テキスト・教材が違う!**  
入学しなければ入手できない、  
講座専用完全オリジナル教材

本講座の学習に使用する教材の選択は、その後の進行のすべてを左右する大切な部分です。本学院では、受験指導校としての実績をもとに合格に必要な不可欠な知識を余すことなく網羅し発行した、講座専用の完全オリジナル教材「合格ノート」と「記述式攻略ノート」を使用いたします。本教材は非売品ですので本講座に入学しなければ入手することはできません。また答案練習講座（答練）に進級した際に使用する解説書の【参照】欄には「合格ノート」の参照頁を記載しておりますので、復習の際のムダな時間を大幅にカットできるうえ、本試験直前の総まとめの場面においても、爆発的な威力を発揮する、まさに合格までのオールインワン教材となっております。

**4 全コースに「過去問テキスト」がついてくる!**  
“平成年代”完全制覇! 昭和年代も  
重要問題はセレクトして収録!

資格試験において、過去問学習は必須項目です。本学院の過去問集は昭和年代からの過去50年以上の過去問を、常に最新の法令に準拠させ、受験生の皆様にご提供しております。基礎力総合編にも含まれています。

**5 もちろん、複素数にも対応しています!**  
複素数の修得は必須です!

土地家屋調査士試験は、まさに時間との勝負と言われる程、知識とテクニックが問われる試験といえます。複素数の修得はそれだけで有利になる計算テクニックなのです。

**6 ダウンロード講義ファイルが扱いやすい!**  
(MP4ダウンロードタイプの方)  
USBメモリ保存可能!  
スマホタブレット等のオフライン視聴も可能!

本学院のダウンロード講義ファイルは、一度ダウンロードしていただければ、あとはオフラインで視聴いただけます。USBメモリに入れて別のパソコンでの視聴はもちろん、スマートフォン・タブレット等のモバイル端末でのオフライン視聴も可能ですからパケット量を気にすることもありません。しかも削除されない限り、受講期間終了後も視聴できるから安心です。もちろん、ストリーミング再生にも対応しております。

※ファイルのコピーは受講生ご本人様の使用に限り許可しており、それ以外の複製・転売は固くお断りしております。

**7 充実した答練講座がちがう!** (総合コースの方)  
試験を知り尽くした講師陣による  
的中統出の新作予想問題!

過去問は最良の学習教材であります。がしかし、過去問が本試験に出題されることはありません。本学院の答案練習講座（答練講座）は試験を知り尽くした講師陣によって、徹底的に試験分析を行い、狙われるであろう論点を確実に網羅できるよう、すべて新作問題を出題しています。基礎力総合編の受講後は、答練講座をベースメーカーとすることで、毎回が本番をシミュレーションすることができ、自然と合格レベルに達することが可能となります。

**8 学習方法等の悩みはオンラインでサクッと解決!**  
オンラインカウンセリングがあるから安心です!

「記述式の学習方法がわからない」「何から始めれば良いかわからない」などの不安やお悩みを本学院講師によるオンラインカウンセリングで解決します。PC・スマホ・タブレット等の各種端末に対応しております。

【完全予約制・月1回まで・15分/1回】

<b>学費</b> (10%税込)	会長様の推薦状があれば、 <b>特別減免学費</b> でお申込み できます。	土地家屋調査士 新・最短合格講座 基礎力総合編 / MP4映像ダウンロードタイプ	● 一般学費 <b>152,600円</b> ● 特別減免学費 <b>129,710円</b>
----------------------	--	--	--



高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL ★TEL. 03 (6228) 1453  
**東京法経学院** ★FAX. 03 (3266) 8018  
 ★HP. <https://www.thg.co.jp>  
 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカバビル1階



# 未来計測 Company

「測る」「計る」「量る」「図る」、「はかる」を届けて78年。



**GT-1200/600** シリーズ  
Geodetic Total Station

長さを測る、時間を計る、重さを量る、合理化を図る。

ものを「はかる」ことは あらゆる事象を数値化し、

次の時代の正確なカタチを求めるための原点です。



当社自社センターにて充実した修理設備と、  
正確かつ豊富な技術と知識を習得した  
サービスエンジニアが安心快適にご利用  
いただける様確かな品質でトプコン・ソキア・  
ニコン・ペンタックス・ライカ他各メーカーの  
メンテナンスをしています。

— おかげさまで創業78年 —

測量・計測システム、オフィスシステム総合商社



## 株式会社 堀江商会

■本社 〒939-2632 富山市婦中町外輪野1430番地1 TEL: 076-403-6771 FAX: 076-403-6772

■石川営業所 〒921-8155 石川県金沢市高尾台2丁目95 TEL: 076-203-9501 FAX: 076-203-9502

URL: <https://horieshoukai.jp/>

北陸唯一のトプコンブランド製品優秀サービス店 JSIMA (日本測量機器工業会) 認定業者



2024.7.16  
新発売



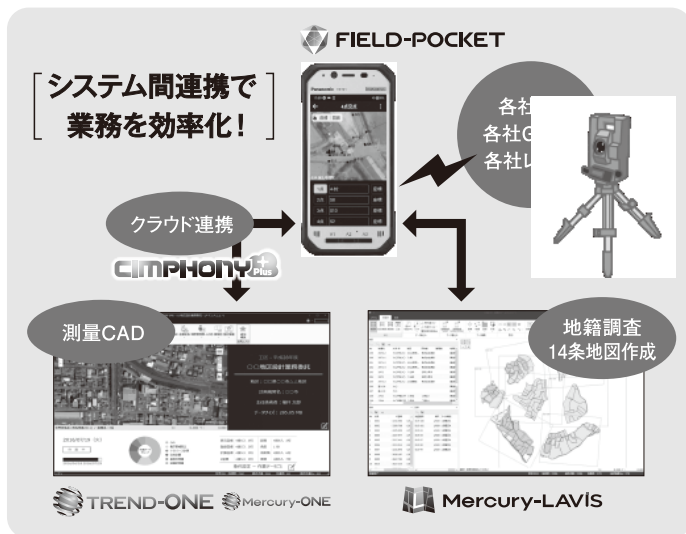
# 測量業、 土地家屋調査士業向け スマートフォンアプリ登場!

待望のワンマン計測アプリが新登場!



現場測量アプリ【フィールドポケット】  
**FIELD-POCKET**

FIELD-POCKETは、Android搭載のスマートフォンで動作する、測量・土地家屋調査士業向け観測アプリです。交点計算、電子野帳観測、現況観測、縦断観測、横断観測、測設など、外業用途における機能を搭載。弊社測量CADとの連動性に優れており、外業内業共に一連の測量業務を非常に効率化することができます。





組合で会った。現場でも会った。

いつのまにか、繋がってたんだ。



わたしたち建設組合は、建設業者の方々の  
社会保障や福利厚生を充実させるために  
役立つ各種事業を扱っております。

お問い合わせ・資料請求

**0120-234-931**

 (一社)日本建設組合連合 加盟

建設連合・石川県建設組合

〒920-0869  
金沢市上堤町1-15 JRE金沢上堤町ビル6F  
TEL.0120-234-931 FAX.076-224-4822  
<https://www.kenseturengo.com>



『全国の建設業者が集まって運営する建設業者のための国民健康保険』

**建設連合国民健康保険(建連国保)**

特  
色  
建  
連  
国  
保  
の

- 保険料は所得等に関係なく、年齢とご家族の人数で決定
- 新規加入時に株式・有限等の法人事業所へお勤めの方は加入不可
- 建設業法上の29業種及び設計業、測量業、地質調査業に従事されている方が対象
- 傷病手当金の給付(組合員が病気やケガで3日以上入院された場合)
- 人間ドック等の費用補助、特定健診・特定保健指導の無料実施(年度内1回)
- インフルエンザ予防接種、全国の保養施設利用等の費用補助



『労働局より認可を得た一人親方労災団体を通じて加入する労災保険』

**一人親方労災保険制度(特別加入)**



『事由に応じて組合員に対し祝い金や見舞金をお支払いする制度』

**建設連合慶弔見舞金制度(慶弔制度)**

建設事業に係る設計業、測量業、地質調査業に  
従事されている方は、加入をご検討ください!!

※加入要件等については一度組合までお問い合わせください。



会報 いしかわ 第171号

---

発行所 石川県土地家屋調査士会  
金沢市新神田3丁目9番27号  
TEL 076-291-1020  
FAX 076-291-1371  
<https://www.ishicho.or.jp/>

編集 広報部  
発行日 令和7年1月  
印刷所 株式会社 共栄

---

不動産表題登記の専門家

# 「とちかおくちょうさし」

境界トラブルの解決支援いたします

境界くい  
ちゃん  
ありますか？

広報キャラクター  
「地識くん」



土地家屋調査士は、土地を識り、人と社会のために  
つくす「地識人」でありたいと思います。

- 土地を買う  
土地の境界線を公正な立場で確認のうえ境界標識を設置し、  
土地境界確認書を作成します。
- 建物を建てる  
境界立会いや敷地に関する調査・諸手続のお手伝いをします。
- 登記の申請  
調査および測量の結果をもとに土地や建物の登記を申請します。

## 境界問題相談センターいしかわ

「境界問題相談センターいしかわ」は、専門家による民間型の裁判外  
境界紛争解決機関です。土地家屋調査士と弁護士が、紛争当事者の  
間に立ち、専門家の立場から問題の調査・整理をし、お互いに納得の  
いく形での解決を目指します。



石川県土地家屋調査士会

〒921-8013 石川県金沢市新神田3丁目9番27号  
TEL.076-291-1020 FAX.076-291-1371  
<https://www.ishicho.or.jp/>



**かいけつサポート**  
認証紛争解決サービス

「かいけつサポート」は法務大臣による  
紛争解決手続きの認証制度です。  
(平成23年11月9日認証番号 第107号)

**TEL.076(291)1125**  
相談日は毎月第3木曜日(要予約)

受付時間  
10時～16時